

# 東条地区小中一貫校=南すま陳情書

第84回加東市議会定例会



陳情者

## 陳情第31-3号

請願書 陳情書	受付第	3	号
平成31年 2月20日			
加東市議会事務局			

(外 664名)

電話番号

件名 東条地域小中一貫校の計画を見直すこと

- 趣旨
1. 予定地は県が危険な地と指定  
その地に建てる学校では子どもの命が守れない
  2. 小中一貫校の言平価が今抑れている  
住民投票で市民に総意を得てから取り組むべき

理由

1. 行政のオ-の責務は市民(子ども)の命を守ること  
学校の施設整備指針には自然災害に対し  
安全であることが重要であると明記されている。にもか  
わらず 予定地は山崎断層が動いた時震度5強  
と予測され 県の指定(急傾斜地の崩壊、地すべり  
浸水)を受けている危険な地であること。

2. 教師の労力過重を封ぎすに姫路市のモデル校で  
教頭と一般教員1名が現職死している。「普通の学校  
より満足度が低くイライラがち」という和光大学教授の  
報告もある。パブリックコメントも無視し十分な論議も  
ないまま推進。又 当市の小規模校の保護者地域  
をまぎんだ生きる力をほぐくお教育実践が高く評価  
されている。大規模になるとこの良さがなくなると懸念  
される。小中一貫校を支持する市民はいかほ出か  
疑向。48億円を20年30年区着も費用対効果を考える  
べき。

上記のとおり陳情書を提出します。

平成31年2月20日

加東市議会議長 小紫泰良様

